

島の歴史

瀬底島には沖縄考古学編年の前・中・後・グスク各期の遺跡や貝塚があることから凡そ3～4千年程前から人間が住んでいたことが分かる。また、島の御獄のあるウチグシク近くの住居跡（瀬底貝塚）から出土する陶磁器などの遺物からそのころ既に集落が形成され、それが直接現在につながっていると考えられる。

三山時代には北山に、古琉球の時代には北山監守の治下にあり、今帰仁間切瀬底村として首里王府から脇地頭もおかれた。近世に入り、1666年伊野波間切（本部間切）の創設に伴い本部間切瀬底村となり、次で1736年に祭温の山林政策により対岸の石嘉波村が瀬底村に移住させられ、以後1島2村制となったが1903年瀬底村に石嘉波を合併し、今日に至っている。

伝統的な村落祭祀と民俗芸能

■ウフユミシメグイ

瀬底島の伝統的な祭祀行事に「ウフユミシメグイ」がある。期間は旧7月18日のウカタビ（御崇べ）に始まり、20日ウフユミ（大折目または大弓）、23日ハンブトゥーキ（ハンジャレト）、24日ワカサマチウグワン（航海安全祈願）、25日別りアシビ（別れ遊び）で終る。これは農村において古くから行われた「世界報予祝」と「祓い」の行事で新穀の米や粟などで「神酒（ミキ）」や「ムーチー」を作って神前に供え、豊魚と豊作を感謝する行事である。瀬底のウフユミシメグイで特徴のあるのは23日の「神仏」で、男神人が各家庭を巡って邪悪を祓い、各家庭の安全祈願を祈願する。現在は各戸巡りはしないが男の世帯主が酒肴携帯でウチマン毛に集い、一度に祓いをうける。形は変わるが「祓い」の儀礼を残している。

■村踊り（丑年・未年）

島には伝統的な行事として「村踊り」と「綱引き」がある。村踊りと綱引きは4年毎に交互に行われ、区の一大行事である。期間は旧8月9、11、13、15日の4日間アサギの遊び庭で行われる。村踊りは「踊り衆」と「棒衆」に別れ、最初に道ジュネー、ウチマン毛での潮巻（スーマキ）次いで舞台（バンク）で勇壮な棒の演技があり、その後午後5時頃から本番で午後10時頃獅子舞で幕を閉じる。

■綱引き（辰年・戌年）

綱引きは旧8月11日、島を南北に分け区事務所前の中道で行われる。綱は雄、雌で作られる。当日は各組の道ジュネーの競演に始まり、午後4時頃、青年男子による支度とガーエーで氣勢があがると綱引きが始まり、島の人はもちろん参観者もこぞって参加する。

村踊りや綱引きは本来豊作の感謝と予祝、村人の健康と村落の繁栄を祈願するものであるが、現在ではそれだけでなく他市町村に在住する島出身者との交流の場にもなり、村落共同体の絆を深める行事としても大きな役割を果たしている。

瀬底島 GUIDE MAP



瀬底ビーチ



瀬底ビーチの夕日



ハラサキ



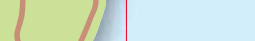
アンチ浜



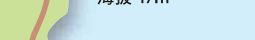
アンチ御獄③



本部港(瀬底地区)



マヤーヤキバ



モモランシチャ



ヒチャライ



ビラフ



ケーガー(拝出泉)



トールマイ



瀬底大橋：1985年(昭60)開通 橋長763m

瀬底の拝所（御獄）

①土帝君

尚敬王代（1713年～1751年）に上間家祖先に依って清国（中国）へ渡り、持ち帰った「濃神土帝君の木製」を祀ったのが始まり旧2月2日の大御願行事にも捧まれる。尚、土帝君像は沖縄戦中、米軍に持ち去られ、現存するのは戦後、上間家が購入したものである。



②祝女火神

ヌルヒヌカン。祝女火神はウチグシク入口にあり、通称ヌルンチ（ノ口殿内）ともいう。南の方に向けて祠があり、南側に鳥居が建っている。祝女火神はノ口管轄で、村落のほとんどの祭祀に捧まれる。戦前は「お宮」とも呼ばれていた。



③アンチ御獄

航海安全祈願所 アンチ浜、西方岩の上、瀬底大橋付け根北側下に在る。祠は他の拝所と異なり、全面が閉じられ、中に窺が納められている。離島であった為、本島と船での往來の際「トゥケワタイ」と言って神に祈った。御獄の下方には「浜番屋」が置かれ、明治末期頃から渡し守りをした岸本家がある。（現白浜食堂）

④根所 神アサギ

神様を迎え招宴する場所。ウフユク（大城家）邸内東側に在る。アサギ内東側の「タムト木」と呼ばれる丸太が、神の依代であり、線香を供える。以前のアサギは米軍空襲で焼失し、戦後セメント畳きで作り直した。

⑤ウチグシク

ウチグシク（東の御獄又はムーチースネードク）は村落の南東に位置する。東側一帯は崖になっている。ウチグシクは瀬底の村落発祥の地で、そこにはグシク時代の住居跡や瀬底貝塚があり腰当（クサティ）にして西北に広がっている。また、島の主要な祭祀がそこで行われることから、瀬底村の中心になる祖神を祀る御獄であろうと思われる。

⑥前の(南の)御獄

メヌ御獄。ヘヌ御獄 前の御獄は村落の南西方約五百メートルのこんもり茂った小丘陵（ウチンメー）にあり拝所の中では最南に位置する。ここは瀬底の七御獄の1つで「国守りの神」といわれるが詳しいことはわからない。5月と9月の大御願に七御獄が捧まれるが、前の御獄は最後に捧まれる。七御獄の1つ

⑦ミヤートウヤ御願、イヌ(西の)御獄

御獄一帯は木が繁茂し、深さ2～3mの窪地で周囲は石灰岩の口の広い洞穴になっている。そこにノ口墓の他三つの墓がある。ここは初代公儀ノ口の骨神を祀ってあるといわれる。この祝女は若い頃から公儀ノ口をつとめた美女であった。ある年、豊作祈願の前に洗い髪（髪を浄める）をしていたら、折から唐泊に碇泊していた船乗りが暴行され、宮島御獄に身を隠した。ノ口は暴行した船員に呪いをかけ、船は難破し全員死んだ。ノ口はそれを見届けた後洞穴で生命を絶った。その骨神を祀ったのが西の御獄であるといわれる。

⑧石嘉波神社

現在健堅（ケンケン）区に隣接した石嘉波村を、1736年山村政策で、瀬底島、東側に移村させられた後、村民によって作られた拝所。石嘉波村落（イッチャファ）の東南方の小高い森一帯が、石嘉波村落の御獄タキサンである。明治36年（1903年）瀬底村と合併し、現在に至る。石嘉波村落の御獄タキサンは旧石嘉波の故地へのお通し御獄であり、祭祀も現在に至るまで瀬底村落とは、別々に行われている。

参考文献 瀬底誌

イベント

■ピージャーオーラサイ

瀬底島のピージャーオーラサイ（闘山羊）は古くから島の先人達が日常の余暇に、自慢の雄山羊を持ち寄り広場で戦わせたのが始まりで、近年はゴールデンウィークのイベントとして5月4日に行われている。闘山羊は山羊同士が角を突き合わせ強さを競う山羊の格闘技で庶民から親しまれている。



■シークエイサー（七月エイサー）

エイサーは本来三線弾き（地謡）、太鼓を中に、周りを周りながら踊る円陣舞踊であるが、近年はショー的な要素が強くなり、太鼓を打ちならし勇壮で、隊列も縦列になったり変化をもたらししているところが多いが、シークエイサーは従来の形を変えず継承され、旧盆には庶民の娯楽として、老若男女誰でも、自由に入り歌い踊れる大衆芸能として区民に親しまれている。



民芸品

■ムンジュル笠

ムンジュル笠は、日除け笠として庶民の生活用品として、沖縄の風土に生まれ、育ち、島の人々が手づくりによって祖先から継承されてきた民芸品である。材料は小麦の茎の芯と、竹（骨組）の二つである。



集落散策

■フクギ並木

フクギは古くから屋敷の防風林、防火林、防潮林として植えられていましたが、近年の住宅の立替等により伐採されたが、島の南側の集落に一部残っている。古き、良き時代を偲ぶ、癒しの空間となっている。



瀬底島の概要

- 面積 2.99 km² ●海岸線長 7.3 km ●最高標高 76m
 - 戸数 310戸 ●人口 782人（水納島含まない）
 - 学校 1校（幼、小） ●主な産業 農業（サトウキビ、スイカ、メロン、菊栽培）
- 2020年1月31日現在

ふるさと納税サイト



瀬底島デジタル版



瀬底行政区

〒905-0227 沖縄県国頭郡本部町瀬底 69-1 番地
TEL.FAX0980-47-3741

この印刷物は心豊かななわがまちづくり推進事業で作成しました。



Sesoko Island

お役立ち情報



宿屋

- ①瑞風花鏡 ☎080-3082-3393 瀬底 2287-1
- ②コンドミニウム瀬底 ☎0980-43-5229 瀬底 2268
- ③Villa イジユのハナ ☎0980-43-6325 瀬底 2268-8
- ④旅宿 もすらのたまご ☎090-6861-8982 瀬底 2267-1
- ⑤SESOKO MODERN 01 ☎090-9166-4060 瀬底 457
- ⑥SESOKO MODERN 02 ☎090-9166-4060 瀬底 528
- ⑦やんばるの宿 ☎0980-47-3073 瀬底 500
- ⑧瀬底島 家人寿 ☎0980-47-5300 瀬底 215
- ⑨古民家の宿 一休 ☎090-2350-8117 瀬底 411
- ⑩夕日の宿 瀬底島 ☎0980-47-6789 瀬底 407-1
- ⑪ゲストハウス かふう村 ☎080-5093-3234 瀬底 1537
- ⑫宿屋オハナ ☎0980-51-6550 瀬底 107-4
- ⑬古民家貸別荘 美ら民家 ☎050-5437-1657 瀬底 113
- ⑭島宿 くくる ☎090-3012-0996 瀬底 45
- ⑮民宿やどかり ☎090-2750-4195 瀬底 4846
- ⑯Private Vacation Villa Kohola ☎050-6863-9751 瀬底 4904
- ⑰アイランドヒルズ瀬底 ☎0980-43-9308 瀬底 4809
- ⑱Seak 瀬底 3488
- ⑲ログキャビン瀬底 ☎080-1451-5384 瀬底 4621-1
- ⑳LECEB SESOKO VILLA ☎0980-43-0343 瀬底 4747
- ㉑FOUR ROOMS ☎0980-47-3404 瀬底 4588-1
- ㉒瀬底山水 ☎0980-43-6377 瀬底 2471-26

海洋レジャー

- ①沖繩クラブアクセス ☎050-5516-8768 瀬底 2263-4
- ②ダイビングショップ DIVENUTS ☎0980-47-5224 瀬底 1278
- ③ノーチラス沖繩 ☎090-9531-0113 瀬底 47
- ④テラワークス ☎090-6770-2118 瀬底 111
- ⑤ダイビングサービス シードアー ☎0980-47-4837 瀬底 550
- ⑥リハルテダイビングサービス もとぶ店 ☎080-6480-5515 瀬底 4762
- ⑦自然体験 うみゆくい ☎0980-43-6103 瀬底 171

飲食店

- ①MUSUBI 172 ☎0980-47-7496 瀬底 2530-1
- ②PIZZA UKAUKA ☎0980-47-4774 瀬底 2281-1
- ③やんばる焙煎工房 ☎0980-47-3073 瀬底 500
- ④瀬底島 家人寿 ☎0980-47-5300 瀬底 215
- ⑤Ringo cafe ☎0980-47-6377 瀬底 279
- ⑥居酒屋 暫 ☎0980-47-7808 瀬底 298-2
- ⑦酒 BAR おおとら ☎090-9531-0113 瀬底 47
- ⑧かどや製麺所 KADROYA ☎0980-43-6093 瀬底 59
- ⑨メロンパン専門店 Moku Pahi ☎0980-43-6726 瀬底 72-1
- ⑩ゆんたく ☎0980-47-5979 瀬底 4861-1
- ⑪fuu cafe ☎0980-47-4885 瀬底 557
- ⑫オレンジサンセット ☎070-3801-6320 瀬底 4673-1
- ⑬バーラしまひろ ☎090-1704-1650 瀬底 4588-2

お店

- ①シークストア ☎0980-47-2150 瀬底 500
- ②大城商店 ☎098-47-3588 瀬底 1583
- ③金善商店 ☎0980-47-3173 瀬底 417
- ④ストアコーばん屋 ☎0980-47-4894 瀬底 118

その他

- ①美容室 かふう ☎0980-47-5226 瀬底 348-1
- ②紅型工房へきにち ☎0980-47-4451 瀬底 94
- ③美ら海パン教室 ☎080-1266-2371 瀬底 105
- ④大城畜産 ☎090-1949-8871 瀬底 5120
- ⑤コインランドリー クイックリン ☎050-6865-9444 瀬底 66
- ⑥みーがまやのモーモー屋 ☎080-1744-5454 瀬底 5127